第６章　総括

下澤遺跡は北山山塊から派生する扇状地の先端に位置し、調査によって古墳時代末頃から奈良時代中頃にかけ相次いで営まれた水田遺構を検出した。

水田跡は３面確認された。土石流の影響を受ける以前の下層水田は、周辺に広く堆積する分解不良の腐植土を基盤として作られている。畦畔がＹ字やＴ字に接続する不規則な区画配置をとる。中層水田は下層水田を覆った大量の砂礫の上に粘質土を客土して作られている。水田区画の配置や規模など不明な点が多いが、区画の境界か畦畔盛土の基準と考えられる杭列がほぼ真北に近い方位を示している状況が確認された。中層水田埋没後に客土して作られた上層水田は下層よりも小規模な水田区画が緩やかな傾斜面に配置され、いわゆる「棚田状」を呈する。３面とも水路遺構は確認できなかったが、谷水を用水路やため池から取水し水口を介して田越に灌漑する方法がとられたと考えられる。なお砂礫層から古墳時代末から奈良時代の遺物が出土しており、当時の集落は調査地北側の扇状地上に存在したと考えられる。

土石流の痕跡が示すように調査地点は扇状地の堆積活動が活発な場所に位置しており、水田が立地するには厳しい環境にある。一般に基盤となる土壌が火山灰層や砂礫層の場合水田の保水力が弱いので、湛水効率を高めるため区画を小規模にすることが多いとされている (工楽 1991)。調査範囲に限定すれば、上層段階における水田の小型化は、環境の著しい変化によって生じる漏水の危険性をできるだけ回避し湛水効率の向上を企図したものと解釈できる。

土石流発生後の復旧に「天地返し」が行われた痕跡がないため耕作土に適した土壌を新たに客土した可能性が想定される。耕作土を分析した結果、イネ科の植物珪酸体の含有量が少ないにもかかわらず湿地由来の植物花粉が大量に含まれていたことが判明した (第５章第１節)。花粉だけでは水田雑草と明確に区分できない問題はあるが、扇状地前面に広がる湿地の腐植土であれば砂礫の透水性を遮断し保水力を保つ土壌としても適しており、復旧に際して大量に確保することができたと考えられる。

上層水田の区画は、場所によって縦長・横長に配置されながらも大局的には東西南北の方向を意識した一定の地割りに基づいて行われたように見える。調査範囲が狭く、水田の広がりや区画の基準 (島根県 2012) となる大畦畔や溝などの遺構が確認されていないため即断は出来ないが、中層段階で南北方向に直線的に杭を打設していることから、水田の復旧にあたり特定の範囲を対象とした一定の地割りが存在した可能性がある。

以上、奈良時代の水田遺構について、扇状地縁辺で継起した水田復旧の状況を確認した。水田の立地としてはやや特殊な環境であるが、度重なる土石流に対し大規模な客土造成によって新たな環境に適応した水田を復旧し、災害を克服した当時の状況の一端が明らかとなった。

引用・参考文献

日本考古学協会静岡大会実行委員会・静岡県考古学会 1988 『日本における稲作農耕の起源と展開－資料集－』

工楽善通 1991 『水田の考古学』

(財) 静岡県埋蔵文化財調査研究所 1993 『静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要』Ⅳ

池淵俊一・渡辺正巳 2007 「里方本郷遺跡から山持遺跡にかけて分布する「オモカス層」について」『山持遺跡Ⅱ・Ⅲ区』Vol.2 島根県教育委員会

島根県教育委員会 2012 『山持遺跡』Vol.8
下澤遺跡の東 1.5 キロメートルの山持遺跡では平安時代後半～中世初頭の条里遺構が確認された。約 110m 間隔で区画された畝状遺構が N-20° -W の方向に伸びる。

第１表　出土土器観察表

fig	番号	写真図版	層位	出土地点	種別	器種	遺存	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	胎土	焼成	色調	形態・文様の特徴	備考
12	1	23	Ⅰ	B2	須恵器	坏蓋	1/4	18.9	(2.0)		密（1.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：青灰 5B6/1 内：青灰 5B6/1		
12	2	23	Ⅰ		須恵器	坏蓋	1/2 以下		(1.2)	4.3	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：赤灰 5R5/1 内：赤灰 5R5/1		
12	3	23	Ⅰ	C2	須恵器	坏蓋	口縁 1/8	14.7	(2.0)		密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰白 N7/ ～灰 N5/ 内：灰 N6/		
12	4	23	Ⅰ	B3	須恵器	坏	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N4/ ～ 灰赤 2.5YR5/2 内：灰 N4/		うすく自然釉がかかる。 坏Ⅰ類、a1
12	5	23	Ⅰ	B3	須恵器	坏	口縁 1/8	12.5	(3.3)		密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 10Y6/1 内：青灰 5 B6/1		坏Ⅰ類、a2
12	6	23	Ⅰ	B3	須恵器	坏	口縁 1/6	12.4	(3.5)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰 N6/		坏Ⅰ類、a2
12	7	23	Ⅰ	C2	須恵器	坏	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ ～ 灰赤 2.5YR5/2 内：灰赤 2.5YR5/2		重ね焼きの痕跡あり。 坏Ⅰ類、b2
12	8	23	Ⅰ	C1	須恵器	坏	口縁 1/6	12.3	(3.6)		密（1mm の砂粒　少量含む）	良好	外：青灰 10BG5/1 ～ にぶい褐 7.5YR6/3 内：青灰 10BG5/1		重ね焼きの痕跡あり。 坏Ⅰ類、b2
12	9	23	Ⅰ	B2	須恵器	坏	1/4 以下	12.4	3.7	8.2	密（4mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰 10Y6/1	外：回転糸切り	坏Ⅰ類、b3、出雲Ⅲ期
12	10	23	Ⅰ	C2	須恵器	坏	1/6 程度	12.4	4.0	7.5	密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 10Y6/1 ～ 紫灰 5RP6/1 内：灰 10Y6/1	外：回転糸切り	重ね焼きの痕跡あり。 坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期
12	11	23	Ⅰ	C1	須恵器	坏	底部 1/4		(1.6)	8.8	密（5mm 以下の砂粒少量含む）	やや不良	外：灰白 N7/ 内：灰白 N8/	外：静止糸切り	坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期
12	12	23	Ⅰ	C3	須恵器	坏	底部 1/6 以下		(2.1)	9.3	密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰 N6/	外：静止糸切り	坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期か
12	13	23	Ⅰ	C2	須恵器	坏	底部 1/4				密（0.5mm の砂粒　少量含む）	良好	灰 N6/	外：回転糸切り	内：一部黒色を呈する。 坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期か
12	14	23	Ⅰ	東壁	須恵器	坏	小片				密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：褐灰 10YR6/1 ～ 灰 5Y5/1 内：黄灰 2.5Y6/1	外：回転糸切り	坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期か
12	15	23	Ⅰ	C2	須恵器	坏	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	やや不良	灰白 5Y7/1	外：回転糸切り	底部線刻あり
12	16	23	Ⅰ	B2	須恵器	坏	小片				密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N6/ 内：黄灰 2.5Y6/1	外：回転糸切り	底部墨書あり
12	17	23	Ⅰ	B3	須恵器	高台付坏	1/2 以下	14.9	4.5	9.0	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 N8/ 内：灰白 N7/	外：静止糸切り 内：使用痕あり、高台と坏部の境が明瞭	坏Ⅱ A 類、ｓ 2、出雲Ⅱ期
12	18	23	Ⅰ	C1	須恵器	高台付坏	底部のみ完形		(3.2)	8.3	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰白 N7/	外：回転糸切り	坏Ⅱ A 類、ｓ 2、出雲Ⅱ期
12	19	23	Ⅰ	C2	須恵器	高台付坏	底部 1/4		(2.2)	9.7	密（3mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 10Y6/1 内：灰 5Y6/1	外：回転糸切り	坏Ⅱ A 類、t1、出雲Ⅲ期
12	20	23	Ⅰ	B3	須恵器	高台付坏	底部 1/4 以下		(2.1)	9.6	密（1mm 以下の砂粒多く、5・8mm の砂粒微量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N4/	外：静止糸切りか	坏Ⅱ A 類、t2、出雲Ⅲ期
12	21	23	Ⅰ	B2	須恵器	高台付坏	底部 1/4 以下		(2.4)	10.2	密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N6/	外：静止糸切り	坏Ⅱ A 類、t2、出雲Ⅲ期
12	22	23	Ⅰ	B2	須恵器	高台付坏	底部 1/6 以下		(3.3)	8.6	密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N6/	外：静止糸切りか	坏Ⅱ A 類、t2、出雲Ⅲ期
12	23	23	Ⅰ	B3	須恵器	高台付坏	1/4 以下	14.8	5.4	10.0	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰白 N7/		坏Ⅱ A 類、u1、出雲Ⅲ期
12	24	23	Ⅰ	B2	須恵器	高台付坏	底部 1/6 以下		(2.4)	10.8	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N6/		坏Ⅱ A 類、u1、出雲Ⅲ期
12	25	23	Ⅰ	B1	須恵器	高台付坏	底部 1/4 以下		(1.8)	10.8	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰白 5Y7/1	外：回転糸切り	坏Ⅱ A 類、ｖ、出雲Ⅲ期
12	26	23	Ⅰ	B2	須恵器	高台付坏	小片				密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N4/ 内：灰 N5/		坏Ⅱ A 類、ｖ、出雲Ⅲ期
12	27	23	Ⅰ	C2	須恵器	皿	底部 1/6	9.1	2.2	13.6	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰 7.5Y6/1		
12	28	23	Ⅰ	B2	須恵器	皿	小片				密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 10Y6/1 内：灰 N6/ ～ N4/	外：回転糸切り	内：黒色を呈する 皿Ⅰ類、出雲Ⅳ期か
12	29	23	Ⅰ	C3	須恵器	高坏	1/2		(7.4)	8.3	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：青灰 5 B5/1 内：青灰 5 B6/1	二方長方形透孔	重ね焼きの痕跡あり。
12	30	23	Ⅰ	B3	須恵器	瓶類か	頸部 1/2	7.5	(7.9)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 5 Y6/1 内：灰白 N7/		自然釉がかかる。
12	31	23	Ⅰ	C3	須恵器	高台付壺	底部 1/3 以下		(4.5)	7.5	密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰白 5Y7/1 内：灰白 N7/	外：静止糸切りか	
12	32	23	Ⅰ	C2	須恵器	甕	口縁 1/4 以下	14.7	(4.8)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 5 Y5/1 内：灰 5 Y6/1		粘土紐の継目が観察できる。
12	33	23	Ⅰ	C3	須恵器	甕	口縁 1/8 以下	11.2	(3.6)		密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰白 N7/	内：同心円文当具痕	
12	34	23	Ⅰ	B3	須恵器	甕	口縁 1/4 以下	12.0	(4.1)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰白 N7/ ～灰 N6/	外：平行文叩き 内：同心円文当具痕	うすく自然釉がかかる。粘土紐の継目が観察できる。
12	35	23	Ⅰ	C3	須恵器	甕	小片				密（1mm の砂粒　少量含む）	良好	灰 N5/	外：平行文叩き 内：同心円文当具痕	自然釉がかかる。
12	36	23	Ⅰ	C0	須恵器	口縁	小片				密（2mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：褐灰 10YR5/1 内：灰 N6/	外：平行文叩き 内：同心円文当具痕	
13	1	24	Ⅰ	C3	土師器	高台付坏	小片				密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：浅黄橙 7.5YR8/3 内：褐灰 10YR4/1	内：使用により摩耗	煤付着か
13	2	24	Ⅰ	B2	土師器	坏	底部 1/4 以下		(2.2)	9.5	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	にぶい黄橙 10YR7/2	内：放射状・螺旋状暗文	畿内産か

fig	番号	写真図版	層位	出土地点	種別	器種	遺存	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	胎土	焼成	色調	形態・文様の特徴	備考
13	3	24	Ⅰ	C3	土師器	把手	小片				密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：暗灰 N3/ 内：にぶい黄橙 10YR7/3		外：厚く煤付着
13	4	24	Ⅰ	C3	土師器	甕	口縁 1/6 以下	27.9	7.9		密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 2.5Y7/1 内：灰黄 2.5Y7/2		外：煤付着
13	5	24	Ⅰ	C3	土師器	甕	口縁 1/6 以下	25.0	(6.3)		密（2mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：褐灰 10YR5/1 内：にぶい黄橙 10YR7/3		外：厚く煤付着
13	6	24	Ⅰ	C1	土師器	甕	小片				密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/2 内：黄灰 2.5Y6/1		外：煤付着
13	7	24	Ⅰ	C3	土師器	甕	小片				密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：褐灰 10YR6/1 内：褐灰 10YR5/1		外：煤付着
13	8	24	Ⅰ	B3	土師器	甕	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰白 2.5Y7/1 内：にぶい黄橙 10YR6/3		
13	9	24	Ⅰ	B3	土師器	甕	小片				密（2mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰黄褐 10YR5/2 内：浅黄橙 10YR8/3 ～ 灰黄褐 10YR5/2		外：煤付着
14	1	25	Ⅱ	C2	須恵器	坏身	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N6/		
14	2	25	Ⅱ	B2	須恵器	坏蓋	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰白 N7/		うすく自然釉がかかる。 蓋Ⅰ類、B1、出雲Ⅱ期
14	3	25	Ⅱ	B3	須恵器	坏蓋	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰白 N8/	外：カキ目	うすく自然釉がかかる。 蓋Ⅰ類、出雲Ⅱ期
14	4	25	Ⅱ	B1	須恵器	坏蓋	1/6 以下		(2.3)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：紫灰 5P6/1 内：青灰 5PB6/1		自然釉がかかる。
14	5	25	Ⅱ	B3	須恵器	坏	小片				密	良好	灰 5Y6/1		坏Ⅰ類、a1
14	6	25	Ⅱ	B1	須恵器	坏か	底部 1/3		(1.9)	7.2	密（1mm の砂粒　多く含む）	良好	灰 N6/	外：回転糸切り	
14	7	25	Ⅱ	B3	須恵器	坏	底部 1/3 以下		(1.5)	10.0	密（1.5mm 以下の砂粒少量含む）	やや不良	外：灰褐 7.5YR5/2 内：灰黄褐 10YR6/2	外：回転糸切り	
14	8	25	Ⅱ	B3	須恵器	坏	底部 1/3 以下		(2.0)	7.6	密（1.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰褐 7.5YR5/2	外：回転糸切り 内：見込み部工具（1.5㎝幅の板状）による放射状の静止ナデ	坏Ⅰ類、出雲Ⅲ期
14	9	25	Ⅱ		須恵器	高台付坏	底部のみ完形		(2.2)	8.9	密（3mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰白 N7/	外：静止糸切り	坏ⅡA類、t1、出雲Ⅲ期
14	10	25	Ⅱ	B1	須恵器	高台付坏	底部 1/2 以下		2.4	8.1	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰白 N7/	外：静止糸切り	坏ⅡA類、u1、出雲Ⅲ期
14	11	25	Ⅱ		須恵器	小型壺	体部 1/4 以下		(5.5)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰 N5/	内：絞り痕あり	うすく自然釉がかかる。
14	12	25	Ⅱ	B1	土師器	坏	小片				密	良好	外：橙 2.5YR6/8 内：橙 5YR6/6		内外：赤色塗彩
14	13	25	Ⅱ	B3	土師器	高坏	脚部 2/3		(16.3)	10.5	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	にぶい黄橙 10YR7/3		
17	1	26	Ⅲ	B1	須恵器	坏蓋	小片				密（1mm 以下の砂粒微量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：青灰 5PB5/1		
17	2	26	Ⅲ	B2	須恵器	坏蓋	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：青灰 5B5/ 内：明青灰 5B7/		
17	3	26	Ⅲ	B2	須恵器	坏身	小片				密	良好	灰白 N7/		うすく自然釉がかかる。受部に細く粘土が付着。
17	4	26	Ⅲ	B1	須恵器	坏蓋	3/4 以上	12.3	2.6		密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰 N6/		うすく自然釉がかかる。つまみ径 2.1㎝。 蓋Ⅰ類、B1、出雲Ⅱ期
17	5	26	Ⅲ	C1	須恵器	坏蓋	小片				密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰 N6/		
17	6	26	Ⅲ	B1	須恵器	坏身	口縁 1/6 以下	11.7	(2.7)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰白 N7/		口縁部に立ち上がり部貼り付け時の凹み？あり。
17	7	26	Ⅲ	B1	須恵器	坏身	口縁 1/6 以下	12.7	(2.5)		密	良好	灰白 N8/		自然釉がかかる
17	8	26	Ⅲ	B2	須恵器	高台付坏	底部 1/6 以下		(2.1)	8.6	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰白 N7/		坏ⅡA類、t2、出雲Ⅲ期
17	9	26	Ⅲ	B1	須恵器	長頸壺	頸～肩部 1/2		(9.5)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰白 N7/		うすく自然釉がかかる。粘土紐の継目が観察できる。
17	10	26	Ⅲ	B1	土師器	坏	小片				密	良好	外：明赤褐 2.5YR5/6 内：にぶい赤褐 2.5YR4/4		内外：赤色塗彩
17	11	26	Ⅲ	B1	土師器	坏	小片				密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：にぶい赤褐 5YR4/4 内：にぶい赤褐 2.5YR4/3		内外：赤色塗彩
17	12	26	Ⅲ	B1	土師器	鼓形器台	器受部 1/6 以下		(6.5)		密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰黄 2.5Y7/2 内：黄灰 2.5Y5/1		
17	13	26	Ⅲ	C0	土師器	高坏	1/2		(6.0)		密	良好	外：明褐灰 7.5YR7/2 内：灰白 10YR8/2		
17	14	26	Ⅲ	B1	土師器	甕	口縁 1/8	18.7	(4.2)		密（1mm 以下の砂粒含む）	良好	灰白 2.5Y8/2		
17	15	26	Ⅲ	B1	土師器	甕	口縁 1/8 以下	19.5	(5.5)		密（3mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：黄灰 2.5Y6/1 内：灰黄 2.5Y7/2		
17	16	26	Ⅲ	B2	土師器	甕	口縁 1/8 以下	16.5	(5.6)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：黄灰 2.5Y6/1 内：灰白 2.5Y7/2		
17	17	26	Ⅲ	B1	土師器	甕	口縁 1/8 以下	15.5	(4.5)		密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰白 10YR8/2		
17	18	26	Ⅲ	B2	土師器	甕	口縁 1/6	19.4	(4.9)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 10YR8/1 内：浅黄橙 7.5YR8/3		

fig	番号	写真図版	層位	出土地点	種別	器種	遺存	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	胎土	焼成	色調	形態・文様の特徴	備考
17	19	26	Ⅲ	B1	土師器	甕	小片				密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：暗灰 N3/ 内：灰白 10YR8/2		外：煤付着
17	20	26	Ⅲ	B1	土師器	甕	口縁 1/6	10.8	(8.0)	16.6	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/3 内：にぶい黄橙 10YR7/2		外：煤付着
17	21	26	Ⅲ	C1	土製品	鞴羽口	口縁 1/4 以下				密（2mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 10YR8/1 内：にぶい橙 5YR7/4 ～ 灰白 10YR8/2		黒色ガラス滓付着
18	1	26	Ⅳ	B1	須恵器	高台付坏	1/2 以下		(3.1)	8.0	密（1mm 以下の砂粒多く、3 ～ 5mm の砂粒少量含む）	良好	灰白 N8/	外：静止糸切り	坏Ⅱ A 類、t1、出雲Ⅲ期
18	2	26	Ⅳ	C1	須恵器	高坏	脚部 1/3		(4.7)	12.0	密（0.5mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰 N4/ 内：灰白 N7/ ～灰 N5/	三方長方形透孔	うすく自然釉がかかる。
20	1	27	Ⅴ	B2	須恵器	坏蓋	1/6 以下	14.3	(4.6)		密（0.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 N7/ 内：灰白 N8/	外：回転ヘラ切か	うすく自然釉がかかる。
20	2	27	Ⅴ	B2	須恵器	坏蓋	小片				密（1.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰 N6/		
20	3	27	Ⅴ	B1	須恵器	坏身	小片				密（0.5mm 以下の砂粒微量含む）	良好	外：灰 N4/ 内：灰白 N7/		うすく自然釉がかかる。
20	4	27	Ⅴ	B2	須恵器	坏身	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：青灰 5 B6/1 内：青灰 5B7/1		
20	5	27	Ⅴ	B2	須恵器	坏蓋	つまみ部のみ		(2.2)		密（1mm の砂粒　少量含む）	良好	外：灰 N6/ 内：灰白 N7/	外：静止糸切りのちナデか	つまみ径 6.7cm。
20	6	27	Ⅴ	B1	須恵器	坏蓋	小片				密（0.5mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰 N8/ 内：灰白 N7/		
20	7	27	Ⅴ	C1	須恵器	高台付坏	1/2	16.9	5.4	9.1	密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：白 N6/ 内：灰白 N8/	外：静止糸切り	坏Ⅱ A 類、ｓ 1、出雲Ⅱ期
20	8	27	Ⅴ	C1	須恵器	高坏	1/2		(7.5)	9.2	密（1mm の砂粒　少量含む）	良好	外：灰 N5/ 内：灰白 N7/	二方透孔	重ね焼きの痕跡あり。
20	9	27	Ⅴ	C4	須恵器	高台付長頸壺	1/4 以下		(22.6)	12.1	密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰白 N7/ ～灰 N5/ 内：灰白 N7/ ～灰 N6/	外：頸部 2 条の沈線 内：絞り痕あり	うすく自然釉がかかる。
20	10	27	Ⅴ	B1	須恵器	平瓶か	体部 1/8 以下		(7.7)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰白 N7/ 内：灰 N6/	ボタン状把手	
20	11	27	Ⅴ	B1 C1	須恵器	提瓶か	1/8 以下		(19.0)		密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	灰白 N7/	外：カキ目 内：同心円文当具痕	
20	12	27	Ⅴ	B3	土師器	甕	口縁 1/6 以下	21.2	(5.9)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰黄褐 10YR6/2		外：煤付着 粘土紐の継目が観察できる。
20	13	27	Ⅴ	B1	土師器	甕	口縁 1/6 以下	19.2	(6.5)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	灰白　5Y7/1		
20	14	27	Ⅴ	B1	土師器	甕	口縁 1/6 以下	22.1	(3.4)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/2 内：浅黄橙 10YR8/3		外：煤付着
20	15	27	Ⅴ	B1	土師器	甕	口縁 1/4 以下	17.4	(5.0)		密（4mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/3 内：にぶい黄橙 10YR7/2	外：頸部 2 条のゆるい凹線文	
20	16	27	Ⅴ	B3	土師器	甕	小片				密（2mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：灰白 2.5Y7/1 内：黄灰 2.5Y6/1 ～ 5/1		
20	17	27	Ⅴ	C1	土師器	甕	小片				密（1.5mm の砂粒　少量含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/3 内：にぶい黄橙 10YR7/2		
20	18	27	Ⅴ	B1	土師器	高坏	小片				密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	赤褐 10R4/4		内外：赤色塗彩
20	19	27	Ⅴ	B1	土師器	高坏	小片				密（1mm 以下の砂粒少量含む）	良好	外：浅黄橙 10YR8/3 内：にぶい黄橙 10YR7/2		
20	20	27	Ⅴ	B3	土師器	高坏	坏部 1/2 以下		(2.6)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/2 内：灰白 2.5Y8/1		
20	21	27	Ⅴ	B1	土師器	高坏	脚筒部のみ完形		(8.5)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：灰黄 2.5Y7/2 内：にぶい黄橙 10YR7/2	坏底部：別粘土で充填	外：赤色塗彩 内：顔料が残る
20	22	27	Ⅴ	B2	土師器	移動式竈	小片				密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	外：にぶい黄橙 10YR7/3 内：にぶい黄橙 10YR7/2		
21	7	27	Ⅵ	C2	土師器	甕	口縁 1/4 以下	21.4	(5.6)		密（1mm 以下の砂粒多く含む）	良好	黄灰 2.5Y6/1		

第 2 表　出土木製品観察表

Fig	番号	写真図版	層位	出土地点	品目	長さ（cm）	幅 / 径（cm）	厚さ（cm）	その他の寸法（cm）	木取り	樹　種	備　　考
13	12	24	Ⅰ	B3	木簡	(7.6)	1.8	0.5		板目	スギ	「小□□ (九ヵ) □」、裏面加工痕あり
13	13	24	Ⅰ	B3	木簡	(6.0)	1.8	0.5		板目	モミ属	「手」
13	14	24	Ⅰ	C3	曲物底板	(17.3)	(6.7)	0.6	綴孔 1（径 0.3）	柾目	ヒノキ属	外周に沿って割付線あり
13	15	24	Ⅰ	B1	楔状製品	(14.9)	2.7	1.4		柾目	スギ	
13	16	24	Ⅰ	C1	板状製品	24.7	3.2	0.9		柾目	スギ	幅 2.0cmの当たり痕あり、両端に棒状あるいは板状の別材を受ける凹みあり
14	14	25	Ⅱ	C2	下駄	26.3	10.6	2.4	鼻緒をつける孔 3（径約 0.6）	柾目	スギ	左足用、足形残る
17	22	25	Ⅲ	B2	木簡	9.0	(2.7)	0.6	円形孔 2（径 0.25 ～ 0.3）	柾目	ヒノキ属	「□□古」
17	23	25	Ⅲ	B1	棒状製品	8.5	2.2	2.0		心去材	イチイ属	先端尖る
18	3	25	Ⅳ	C1・C2	部材か	(84.5)	3.3	1.2		板目	スギ	
21	1	28	Ⅴ	B2	部材	21.5	4.0	0.7（最大）	長方形の孔 1(0.9 × 0.7) 目釘 2（径 2.5） 目釘孔 3（径 0.5 ～ 2.0）	板目	スギ	
21	2	28	Ⅴ	B3	板状製品	(19.2)	(4.2)	0.3		柾目	スギ	
21	3	28	Ⅴ	B3	部材か	9.3	3.4	1.0	円形孔 1（径 0.4）	板目	スギ	刳り込みあり
21	4	28	Ⅴ	B1	杭か	(23.7)	9.3	4.3		心持材	アカガシ亜属	先端尖る、方形の刳り込みあり
21	5	28	Ⅵ	C2	羽子板状製品	15.5	8.0	2.8		柾目	スギ	
21	6	28	Ⅵ	西溝	杭か	(40.5)	9.3	5.2		心持材	サクラ属	先端加工あり

第 3 表　出土石製品観察表

Fig	番号	写真図版	層位	出土地点	品目	長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重量（g）	石　材	備　　考
13	10	24	Ⅰ	B3	翼状剥片	2.6	7.0	0.6	11.68	安山岩	
13	11	24	Ⅰ	B1	砥石	(6.9)	(6.5)	最大（3.3）	182.08	凝灰岩	6 面使用、破損したのち被熱